

令和2年度 第1回(第20回)四国中央市子ども・子育て会議 議事要旨

日 時 令和2年12月23日(水) 13:30~15:00

場 所 四国中央市庁舎市民交流棟2階 会議室1・2

委員出席状況

【出席】

委員長	宮崎 政夫	(元公立保育園民営化選定委員会委員)
副委員長	宮崎 さゆり	(四国中央市民生児童委員協議会)
委員	内田 多重子	(公募市民)
委員	和田 恵美子	(公募市民)
委員	高橋 真弓	(四国中央市立三島東幼稚園長)
委員	土肥 義紹	(学校法人金生幼稚園理事長)
委員	三好 桂子	(四国中央市立北保育園長)
委員	高橋 尚子	(社会福祉法人伊予三島福祉施設協会 みしま乳児保育園長)
委員	藤川 美江	(育児サークル「リトル☆スター」)
委員	井上 俊正	(四国中央市地区労働者福祉協議会)
委員	三宅 彩香	(しこちゅ〜・ほこほこネット)

【欠席】

委員	中西 かふみ	(NPO法人ふれあい)
----	--------	-------------

【事務局】

福祉部長	大西 緑
こども課長	合田 晃友
こども課	西川 由紀子、梶原 靖久、庄司 宗和、宮崎 利恵子、児山 初美

【傍聴者】

なし

1. 開会
2. 委嘱状の交付
3. 部長あいさつ
4. 委員自己紹介
5. 事務局自己紹介
6. 委員長及び副委員長の選出

7. 議事

(1) 第二期四国中央市子ども・子育て支援事業計画について

事務局より順次説明

[委員長]・ 第二期四国中央市子ども・子育て支援事業計画について、只今事務局より説明があったが、本日の説明や冊子等で何かご質問やご意見があれば伺いたい。

ー質問・意見等なしー

- ・ この計画は、令和2年3月に策定されたが、新型コロナウイルス感染拡大予防のために中止となった事業や、これまでのやり方とは違った方法で行った事業などご苦勞があったことと思う。4月以降実施してきた事業や、今年度3月までの実施予定があれば伺いたい。

[事務局]・ 愛媛県の少子化対策の一環として、結婚を希望する男女の出会いの場を提供する「えひめ結婚支援センター」という公的機関がある。「愛結び（お見合）」や「de 愛イベント」で、独身のみなさんの婚活を支援している。

- ・ 「de 愛イベント」では、公益社団法人宇摩法人会と四国中央市役所こども課との共催で例年1～2回開催している。今年度は新型コロナ感染予防対策として、参加人数を縮小したり別の交流方法を考慮したりして、11月29日（日）に開催した。成果としては、8組中4組のカップルが成立した。
- ・ 1対1のお見合い「愛結び」は、会員登録後タブレット端末で気になるお相手を探してお見合いを申し込み、お見合い相手がお受けされたらサポーター同席のもと、1対1でゆっくりお見合いができる。東予地区の「愛結びコーナー」は、西条市と新居浜市に常設しており、四国中央市では愛結び特設会場を設置し、登録・閲覧会を行っている。これまで、中之庄公民館で定期開催していたが、今年度は、新型コロナの感染予防のために開催できていないのが現状である。今年度1月か遅くても2月頃に開催できればと考えている。
- ・ 児童虐待防止対策として、虐待を未然に防ぐための情報収集に努め、虐待が確認された場合等には、福祉、保健、教育などの関係機関や児童相談所、警察等が連携して対応している。新型コロナウイルス感染予防のために生活様式がこれまでと変わったが、虐待確認の数には変わりがない。
- ・ 子育てフェスタ2020の開催については、今年度は形態を変えて開催した。「今年はおうちで楽しもう！」と題して、10月25日（日）11時～ コスモスチャンネルで放映した。未加入の方も、四国中央TVホームページで同時配信した。来年度は、10月31日（日）に三島運動公園にて開催する予定である。

[委員]・ 第二期四国中央市子ども・子育て支援事業計画P31「量の見込みと提供体制」の将来人口等は、何を根拠として打ち出しているのか。

[事務局]・ 将来の人口は、住民基本台帳及び外国人登録原票の実績に基づき、1歳以上の性別年齢別の人口については、性別1歳階級別変化率法を用い推計し、0歳児の人口については市の過去の出生人口と15～49歳女子人口との比率により推計している。

- ・ 住民基本台帳による本市の総人口は、今後も減少傾向で推移し、0～18歳未満の児童人口についても、将来人口の図に示しているように減少傾向で推移していくと想定される。
- [委員長]・ 保育園や医療・介護等に従事している方々は、新型コロナウイルスの感染が広がらないようにご苦労されている。知り合いの方の話だが、奥様が介護職に就かれているため、その方が出張から帰ってきた時、もしもの事を考えて、職場からホテル代等の保障はないが、ホテル住まいをしたという話を聞いた。皆さんの職場でのご苦労はないか。
- [委員]・ 自分の会社では、リモートでWeb会議を行っている。保育園や幼稚園は、市(こども課)などとのネットワークはどのようになっているのか。
- [委員]・ ITはまだまだ進んでいない。園長会等は、広い部屋で密にならないような方策をとっている。園内研修は小集団で行っている。市内の私立保育園等では、Webでの研修や職員会を行っているという話を聞いた。
- [委員長]・ 民間ではWeb会議が広がってきており、そのことにより時間的ゆとりができる等の利点があるようだ。
- [委員]・ 自分の職場では、行事の見直しが余儀なくされている。参観日や運動会等たくさんの行事があるが、中止するのではなく、感染予防について試行錯誤しながらも、どのようにすれば安全に開催できるかを考えながら行ってきた。これまでの年間行事の在り方を見直すよい機会となっている。
- ・ 保護者は、様々な行事ができないと思っていたようだが、形態を変えて行事ができたことにより、保護者から感謝の声が聞かれた。また、職員の感染予防対策の意識がより高まった。
- ・ 園児の中には、何日も同じマスクを使用したり、床に落ちたままになっているマスクがあったり等、子どものマスク管理が難しい。
- [委員]・ 「家族が県外に出るが、その家族が帰ってきたら幼稚園を休ませた方がよいか?」「県外に里帰りしようと思うがどうか?」などの問い合わせが保護者からあった。「お子さん、ご家族の体調に気を付けてよくみておいてください。」と伝えた。保護者の感染予防対策の意識が高くなっており、園行事等においても理解と協力を得ている。
- [委員]・ 新型コロナウイルス感染予防対策の一つとして、国・県・市からIT化の補助金をいただき、研修会や園内研修などをリモートで行うことができている。
- ・ 行事では参観日がなくなり、その代わりに園生活の様子をユーチューブ等で動画配信している。その中で保護者のセキュリティに関する問題がでてくる。
- ・ 発表会では人数制限や健康チェックシートを実施した。また合唱クラスターの対処として、全園児がマスクをして練習したり、鍵盤ハーモニカでは、園児間につい立をして行ったりした。
- [委員長]・ 葬儀においてもこれまでの様式とは違い、家族葬で行ったことを喪中のはがきで知ることがあった。年末年始の神社仏閣の参拝方法にも変化があるようだ。
- [委員]・ 実際のところ、除夜の鐘について、感染対策上どのようにすればよいか考えているところである。

- [委員]・子育て中の保護者とそのお子さんが週1回ほど集まっている。その中で大勢が集まるイベント行事ができなくなった。(アンパンマン列車のイベント他)
- [委員]・幼児クラブの申し込み人数も例年と比べると少ない。例年は30名程だが、今年は10名程である。密にならないように工夫し、少人数でも楽しむことができる活動を取り入れている。
- [委員]・病院内の保育園で保育士をされている方が、新型コロナの関係でご家族に1年半も会えていないという話を聞いた。保育士さん方の変えを感じる。
- [委員]・助産院を経営しているが、予約制のマンツーマン体制で診察しており、来院した方が受診の前後で出会わないようにしている。母乳外来においても、安心して来院できるように配慮している。
- ・研修はリモートで行っている。これまでは宿泊代や運賃がかかっていたが、それらの経費がかからなくなったというよい面もあった。
 - ・自分は小学校1年生の双子の母親でもある。担任とは、参観日や個人懇談がなかったため、入学式にお会いしただけである。学校と保護者相互による、伝え合いのキャッチボールのような関係があればありがたいと思う。
- [副委員長]・研修会や講演会など、感染予防のために会場まで行くことができなかったが、リモートで行うことができた。旅費や宿泊等の経費もいらずに研修ができてよかった。
- [委員]・第二期四国中央市子ども・子育て支援事業計画P35に「平成30年度より子育て世代包括支援センターを開設し専任職員を配置」と記しているが、その点についてもう少し具体的に説明してほしい。
- [事務局]・四国中央市保健センター内に子育て世代包括支援センターを開設し、担当保健師が保護者やご家族の子育てをサポートしている。妊娠期では、妊娠の届出の際にお話を伺い、困りごとや悩みがある方は継続的にサポートしている。出産直後は、出産に向けて不安なことがあれば、お話を伺っている。その後、赤ちゃん訪問で赤ちゃんの発育や育児、お母さんの健康状態・困りごと等についてお聞きし、必要であれば産後ケアについてご紹介している。子育て期では、子育てへの不安がある場合は、継続的にサポートしている。また必要時、利用可能なサービスや専門機関をご紹介している。
- [委員]・市内に新型コロナ感染者が出た事実はあったのか。
- [事務局]・市の方にはそういう連絡はなく、保健所が消毒に入ったとか休園したという事実もない。
- [委員]・P40の放課後児童クラブ関係で、今年度から自園で放課後児童クラブを開設している。園は金生第一小学校に近いので、利用者の多くは金生第一小学校の児童であるが、中には、妻鳥小学校からタクシーで来ている児童がいる。そのタクシー代等は助成金をいただいで運営している。
- ・放課後児童クラブが小学校内に設置されていない所では、小学校から児童クラブまで子どもを連れて行くのに、保護者が仕事を休んで順番に連れて行っているという話を聞いた。この点、少しでも解消していくことができると願う。
 - ・4・5月、新型コロナウィルス感染予防のため学校が休校になった時、家庭学習のためにたくさんのプリントが出された。そのプリントを児童クラブでするため、児童クラブの先生方が大変だったという声を聞いた。

[委員長]・ 学校教育と放課後児童クラブの関係が大切になってくる。

[委員]・ P30の「重点施策4 保育人材の確保方策の充実」として、保育士の確保や若い保育士の離職をくい止めること、さらに働き方改革が不可欠であると考えている。市として、どのような施策を考えているか。

[事務局]・ 四国中央市においても、保育園や児童クラブなどで、拡大する利用ニーズに対応しきれていない状況が課題となっている。県の対策として、保育士の免許を取得している潜在保育士の登録、就職への支援をする事業を行っている。本市としても県と連携して行っていくとともに、保育士のやりがいと魅力を紹介し、これまで当たり前だった労働環境を見直す働き方改革も重要である。

(2) その他について

- ① ひまわりハッピー保育園と認定こども園三島幼稚園の令和3年度利用定員の変更について事務局より説明。
- ② 第21回 四国中央市子ども・子育て会議は、令和3年6月に開催予定。



委嘱状の交付



部長あいさつ



委員長・副委員長あいさつ



委員自己紹介



事務局より説明